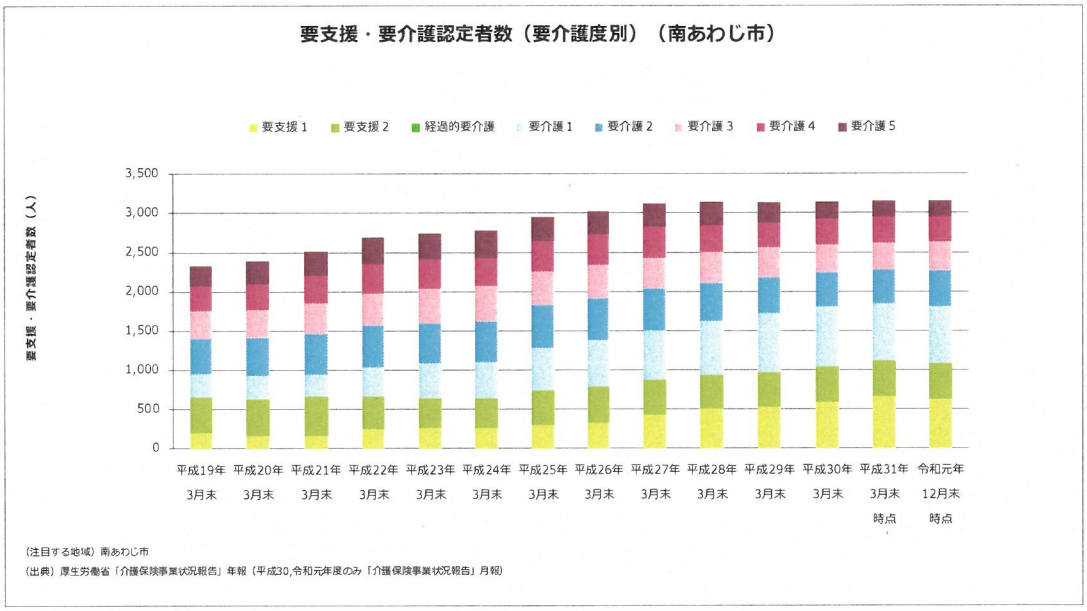
令和元年度　進捗状況と評価について

※資料：高齢化率－洲本市、人口密度－淡路市、人口規模－赤穂市、
南あわじ市と近似値の市を参考に比較しています。

○昨年実施の評価と同傾向で、計画時の推計と同様に、人口の減少傾向の中、認定者数は増加傾向である。認定介護度別状況は要支援１・２と要介護１は増加、要介護２～５は減少傾向にある。（資料１）

資料１

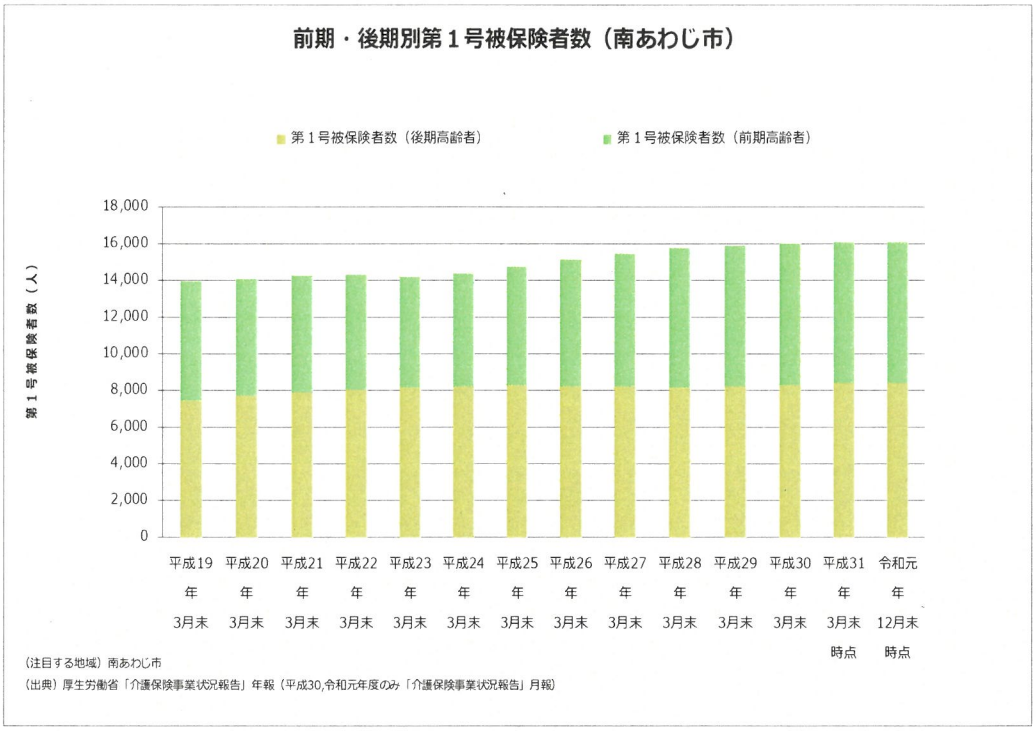


	平成19年3月末	平成20年3月末	平成21年3月末	平成22年3月末	平成23年3月末	平成24年3月末	平成25年3月末	平成26年3月末	平成27年3月末	平成28年3月末	平成29年3月末	平成30年3月末	平成31年3月末時点	令和元年12月末時点
認定者数（要支援１）	205	166	161	250	265	259	302	330	440	507	528	597	660	632
認定者数（要支援２）	446	458	501	421	374	384	438	459	430	431	442	449	459	443
認定者数（要介護１）	302	304	278	370	451	462	542	597	639	684	754	766	720	737
認定者数（要介護２）	453	488	523	541	517	520	550	528	532	486	461	438	441	454
認定者数（要介護３）	357	355	398	394	436	446	421	430	382	387	375	351	347	369
認定者数（要介護４）	313	334	343	380	368	359	396	393	406	350	322	325	319	318
認定者数（要介護５）	259	283	314	334	335	346	305	284	297	297	252	217	207	200
合計認定者数	2335	2388	2518	2690	2746	2776	2954	3021	3126	3142	3134	3143	3153	3153

軽度判定者の増加は、特に新規申請者の軽度判定率が高い傾向にあり、総合事業の利用や、介護予防事業への取り組みに繋がる仕組みづくりが必要である。

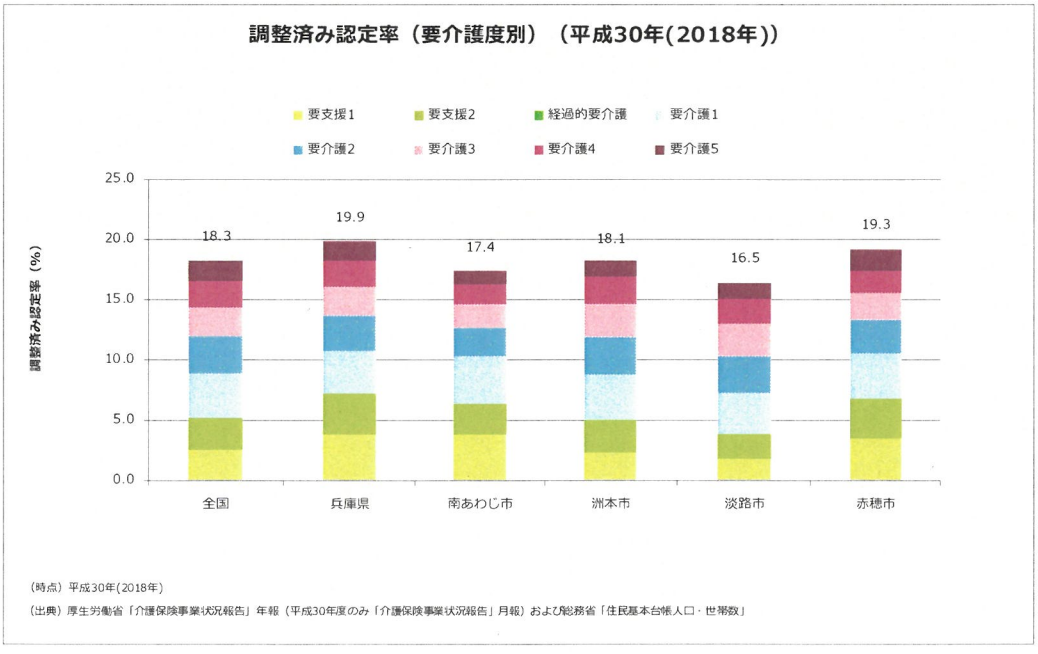
第１号被保険者（65歳以上）の内、後期高齢者（75歳以上）の被保険者数に大きな変化は見られない中で、重度認定者数は減少傾向にあることについて、後期高齢者医療費が増加傾向にあることも考慮すれば、医療サービスに頼る傾向とも見ることができるが、そこから医療サービスから介護サービスに移行する時の受け皿として、「施設サービス」や、在宅生活を支える「在宅サービス」の必要性も当然に高い。医療サービスから介護サービスへの移行について着目し、課題を認識することが求められる。（資料２）

資料２



（注目する地域）南あわじ市

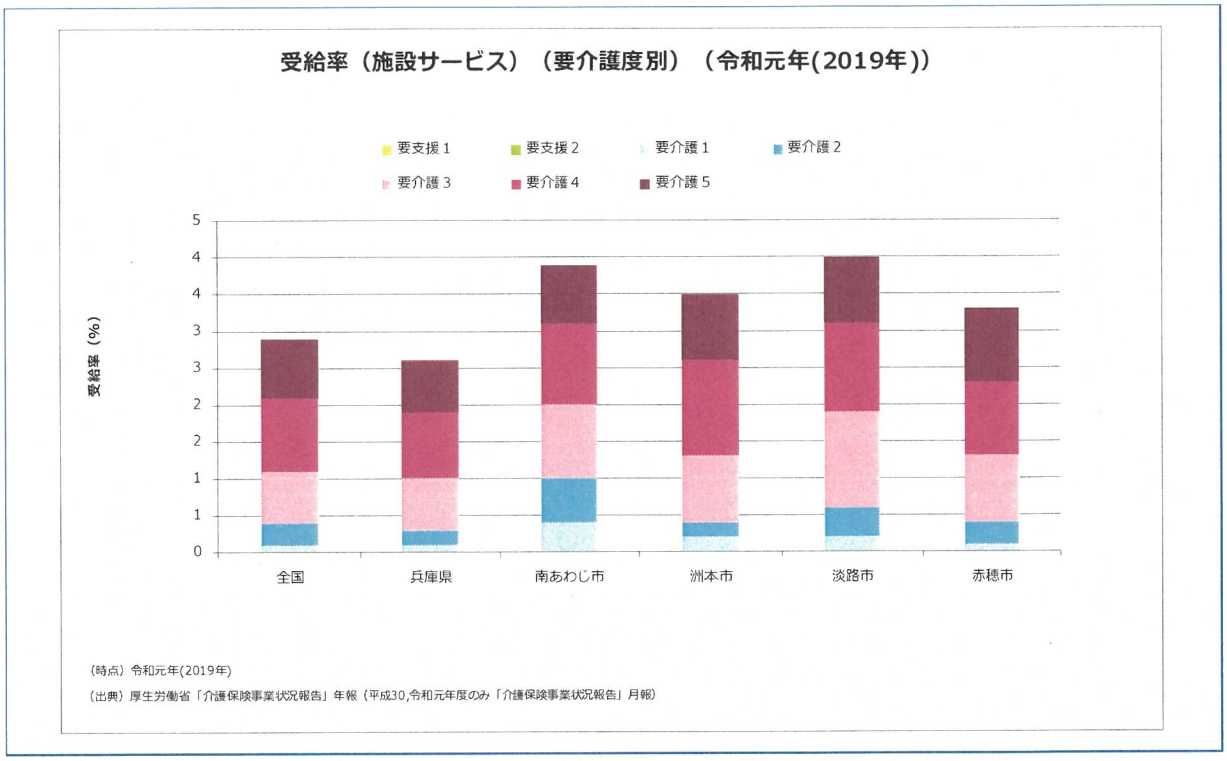
（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（平成30,令和元年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）

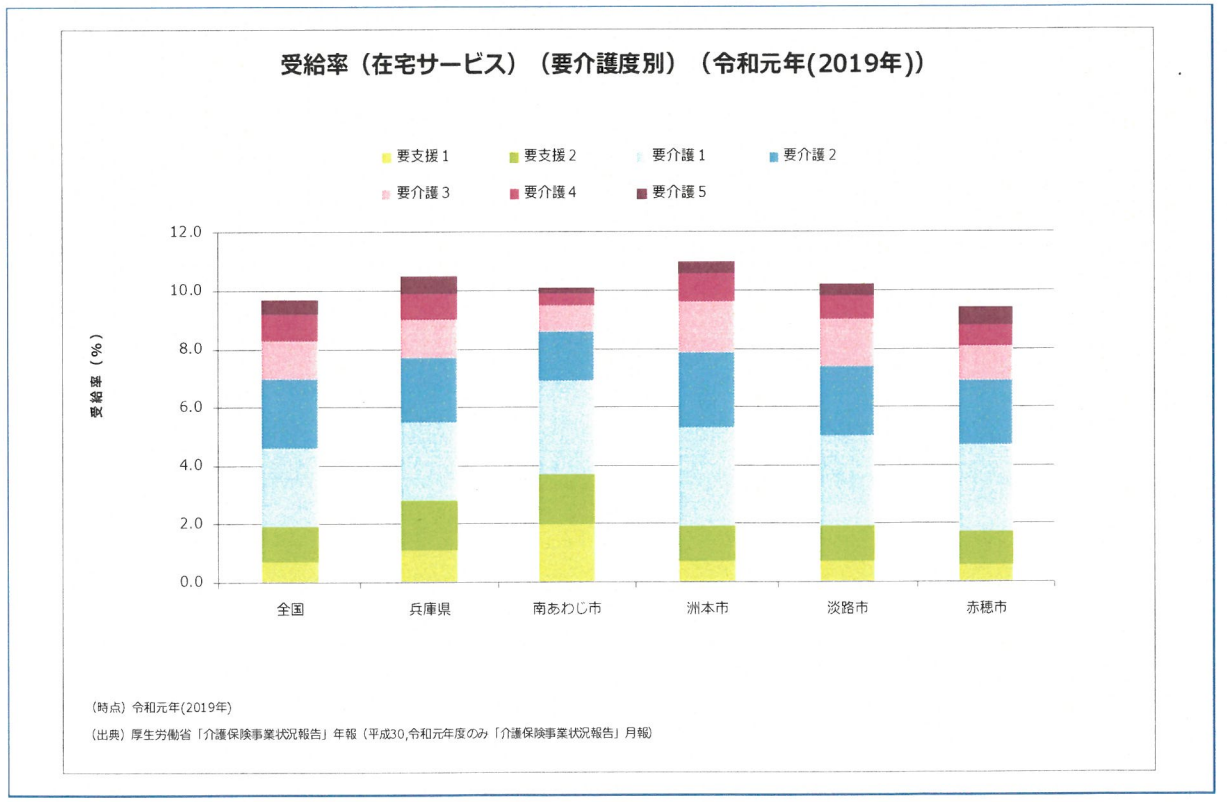


（時点）平成30年(2018年)

（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（平成30年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

資料３





南あわじ市では施設サービスの受給率は高い。在宅サービスの受給率も高いが、重度認定者の受給率は低く、在宅生活を支える部分での課題の把握が必要である。（資料３）

令和元年度　給付実績

月報記載月		４－３審査　実績※	事業計画値	実施率
審査月・支出決定月		令和元年度	令和元年度	
居宅（介護予防）サービス（小計）		1,581,490,826	1,899,111,000	83.3%
訪問通所サービス（小計）		1,178,334,199	1,283,589,000	91.8%
訪問介護		178,368,239	209,591,000	85.1%
	（介護給付）	178,368,239	209,591,000	85.1%
	（予防給付）	0	0	－
訪問入浴介護		13,500,916	24,906,000	54.2%
	（介護給付）	13,500,916	24,531,000	55.0%
	（予防給付）	0	375,000	0.0%
訪問看護		127,461,110	117,682,000	108.3%
	（介護給付）	88,320,973	85,237,000	103.6%
	（予防給付）	39,140,137	32,445,000	120.6%
訪問リハビリテーション		52,564,081	57,214,000	91.9%
	（介護給付）	29,072,812	40,487,000	71.8%
	（予防給付）	23,491,269	16,727,000	140.4%
通所介護		359,533,260	366,759,000	98.0%
	（介護給付）	359,533,260	366,759,000	98.0%
	（予防給付）	0	0	－
通所リハビリテーション		338,097,407	403,460,000	83.8%
	（介護給付）	260,533,032	323,823,000	80.5%
	（予防給付）	77,564,375	79,637,000	97.4%
福祉用具貸与		108,809,186	103,977,000	104.6%
	（介護給付）	77,791,697	82,473,000	94.3%
	（予防給付）	31,017,489	21,504,000	144.2%
短期入所サービス（小計）		265,410,167	255,978,000	103.7%
短期入所生活介護		245,015,598	220,930,000	110.9%
	（介護給付）	240,410,748	214,213,000	112.2%
	（予防給付）	4,604,850	6,717,000	68.6%
短期入所療養介護		20,394,569	35,048,000	58.2%
	（介護給付・老健）	20,394,569	34,797,000	58.6%
	（予防給付・老健）		251,000	0.0%
居宅療養管理指導		9,735,904	7,701,000	126.4%
	（介護給付）	7,908,452	6,355,000	124.4%
	（予防給付）	1,827,452	1,346,000	135.8%
特定施設入居者生活介護		128,010,556	114,203,000	112.1%
	（介護給付）	119,378,309	109,453,000	109.1%
	（予防給付）	8,632,247	4,750,000	181.7%
介護予防支援・居宅介護支援		186,137,770	196,941,000	94.5%
	（居宅介護支援）	155,921,996	167,742,000	93.0%
	（介護予防支援）	30,215,774	29,199,000	103.5%
地域密着型（介護予防）サービス		648,599,174	753,283,000	86.1%
定期巡回・随時対応型訪問介護看護		0	45,361,000	0.0%
夜間対応型訪問介護		0	0	－
地域密着型通所介護		33,415,903	37,148,000	90.0%
認知症対応型通所介護		49,458,223	75,933,000	65.1%
	（介護給付）	48,836,211	74,166,000	65.8%
	（予防給付）	622,012	1,767,000	35.2%
小規模多機能型居宅介護		143,184,720	156,931,000	91.2%
	（介護給付）	129,288,708	146,592,000	88.2%
	（予防給付）	13,896,012	10,339,000	134.4%
認知症対応型共同生活介護		190,807,543	214,166,000	89.1%
	（介護給付）	188,803,155	214,166,000	88.2%
	（予防給付）	2,004,388	0	－
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介		231,732,785	223,744,000	103.6%
施設サービス（小計）		1,602,703,908	1,788,192,000	89.6%
介護老人福祉施設		863,859,617	945,172,000	91.4%
介護老人保健施設		730,048,929	704,156,000	103.7%
介護療養型医療施設		0	8,437,000	0.0%
介護医療院		8,795,362	130,427,000	6.7%
高額介護（予防）サービス費		83,728,787	86,960,594	96.3%
高額医療合算介護（予防）サービス費		12,155,076	10,947,113	111.0%
特定入所者介護（予防）サービス費（小計）		190,827,766	199,621,502	95.6%
福祉用具・住宅改修サービス		25,242,204	37,999,000	66.4%
福祉用具購入		4,521,816	7,573,000	59.7%
	（介護給付）	3,035,890	4,569,000	66.4%
	（予防給付）	1,485,926	3,004,000	49.5%
住宅改修費		14,573,708	30,426,000	47.9%
	（介護給付）	7,481,788	15,498,000	48.3%
	（予防給付）	7,091,920	14,928,000	47.5%
合　計		4,324,738,831	4,792,895,451	90.2%
審査支払手数料		3,589,080	4,273,864	84.0%

※4月～翌2月は実績値、翌3月分は見込値により算出

1　地域支援事業の推進

1．介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）

（2）一般介護予防事業

②-1　介護予防出前講座

計画書掲載ページ： 55,56

		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
延べ参加人数	目標（見込値）			625人	625人	750人	875人
	実績	884人	1,058人	641人	719人	619人	
実施回数	目標（見込値）			25回	25回	30回	35回
	実績	34回	36回	34回	53回	23回	

・推進の方向性

引き続き認知症に関する普及啓発や、介護予防に関する知識などを住民に普及を図っていく。

・第7期計画の中間評価と課題点

現時点で延べ参加人数、実施回数ともに目標値を達成できている。
今後の課題点としては、新規参加者の増加、定期的な参加の定着が挙げられる。
新規参入を促す層として、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（以下、ニーズ調査という）で把握できた、比較的に参加頻度の少ない「男性」や「前期高齢者」を対象に参加勧奨を重点的に行うなどが考えられる。
男性についてはいきいき百歳体操などの一般介護予防事業の周知度が女性に比べて低いことから周知の方法についても検討を行う必要がある。

・参考資料

第8期　介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

いきいき百歳体操、ふれあいいきいきサロンなど介護予防のための通いの場への参加頻度

単位：%

		母数(n)	⑤いきいき百歳体操、ふれあいいきいきサロンなど介護予防のための通いの場への参加頻度						（再掲）
			週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答	年1回以上している
全体		1,617	1.0	1.7	6.2	2.6	3.5	62.0	23.1	15.0
性・年齢	男性　前期高齢者	405	0.2	0.2	1.0	0.2	2.5	80.2	15.6	4.0
	後期高齢者	308	0.6	1.3	2.9	0.6	2.6	58.8	33.1	8.0
	女性　前期高齢者	446	0.7	0.7	6.3	2.0	5.8	68.6	15.9	15.5
	後期高齢者	458	2.2	4.1	12.9	6.6	2.6	41.5	30.1	28.4
圏域	緑	429	1.2	3.5	8.4	2.6	3.5	59.4	21.4	19.2
	西淡	381	1.0	1.3	6.3	4.5	2.9	59.3	24.7	16.0
	三原	386	0.8	0.8	3.6	2.3	3.1	67.9	21.5	10.6
	南淡	386	0.8	1.0	6.5	1.3	2.6	63.0	24.9	12.2
	沼島	35	2.9	－	2.9	－	22.9	45.7	25.7	28.7
認定該当状況	一般高齢者	1,518	0.9	1.1	6.0	2.6	3.6	63.5	22.5	14.2
	要支援1・2	99	3.0	11.1	9.1	3.0	2.0	38.4	33.3	28.2

南あわじ市の取組みで知っていること

単位：%

		母数(n)	南あわじ市の取組みで知っていること(MA)									
			いきいき百歳体操	かみかみ百歳体操	しゃきしゃき百歳体操	高齢者日常生活用具給付等事業	配食サービス	緊急通報システムの設置	高齢者活躍推進事業	その他	知らない	無回答
全体		1,617	70.3	10.6	6.5	10.3	28.9	14.5	4.9	0.7	16.2	9.1
性・年齢	男性　前期高齢者	405	57.3	5.4	3.5	8.4	21.7	20.7	6.9	0.5	27.4	8.6
	後期高齢者	308	63.6	8.4	4.5	7.5	17.9	12.0	5.5	1.3	19.8	12.0
	女性　前期高齢者	446	81.6	10.8	6.7	10.1	42.4	16.1	5.8	0.2	9.6	6.3
	後期高齢者	458	75.3	16.6	10.3	14.0	29.5	9.0	2.0	1.1	10.3	10.3
圏域	緑	429	72.7	14.2	8.2	7.9	29.1	14.9	3.7	0.9	13.5	10.0
	西淡	381	70.9	12.1	7.3	14.7	38.8	15.2	6.3	0.3	13.9	10.2
	三原	386	70.5	9.8	4.9	9.8	24.6	13.0	6.0	1.0	17.6	8.0
	南淡	386	66.6	7.0	5.4	9.1	23.8	15.5	4.1	0.8	19.4	8.5
	沼島	35	74.3	－	5.7	8.6	20.0	5.7	2.9	－	22.9	2.9
認定該当状況	一般高齢者	1,518	70.7	10.6	6.3	10.1	29.7	15.3	5.1	0.7	16.7	8.3
	要支援1・2	99	64.6	11.1	10.1	12.1	16.2	2.0	2.0	2.0	9.1	21.2

②-2　沼島デイサービス事業　　計画書掲載ページ： 56

		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
実施回数	目標（見込値）			48回	48回	48回	48回
	実績	48回	48回	48回	48回	48回	
平均参加人数	目標（見込値）			7人	7人	9人	9人
	実績	7人	7人	7人	7人	7人	

・推進の方向性

当面の間、現在の在り方で事業を継続していく。

・第7期計画の中間評価と課題点

現時点で延べ参加人数、実施回数ともに目標値を達成できている。
沼島においては南あわじ市内の他の地域と比べて、ニーズ調査から外出頻度等が少なくなる傾向があることが把握できたので、引き続き事業実施を進めていく。

・参考資料

第8期　介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

外出の頻度

単位：%

		母数(n)	外出の頻度				
			ほとんど外出しない	週1回	週2～4回	週5回以上	無回答
全体		1,617	6.4	13.7	39.6	38.8	1.4
性・年齢	男性　前期高齢者	405	3.2	9.9	32.6	52.8	1.5
	男性　後期高齢者	308	8.8	13.6	34.1	42.2	1.3
	女性　前期高齢者	446	3.6	9.9	46.6	38.1	1.8
	女性　後期高齢者	458	10.5	21.0	42.6	24.9	1.1
圏域	緑	429	4.2	12.1	43.1	39.9	0.7
	西淡	381	4.2	17.1	39.1	38.3	1.3
	三原	386	6.7	12.2	39.6	40.4	1.0
	南淡	386	9.3	14.5	36.0	38.3	1.8
	沼島	35	22.9	5.7	40.0	20.0	11.4
認定該当状況	一般高齢者	1,518	5.5	13.0	39.4	40.6	1.4
	要支援１・２	99	20.2	24.2	42.4	11.1	2.0

閉じこもりのリスク該当者

単位：%

		母数(n)	閉じこもりのリスク	
			該当	非該当
全体		1,617	20.2	79.8
性・年齢	男性　前期高齢者	405	13.1	86.9
	男性　後期高齢者	308	22.4	77.6
	女性　前期高齢者	446	13.5	86.5
	女性　後期高齢者	458	31.4	68.6
圏域	緑	429	16.3	83.7
	西淡	381	21.3	78.7
	三原	386	18.9	81.1
	南淡	386	23.8	76.2
	沼島	35	28.6	71.4
認定該当状況	一般高齢者	1,518	18.6	81.4
	要支援１・２	99	44.4	55.6
家族構成	１人暮らし	243	20.6	79.4
	夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	514	18.5	81.5
	夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	76	13.2	86.8
	息子・娘との２世帯	390	23.1	76.9
	その他	359	18.7	81.3

③-1　いきいき百歳体操

計画書掲載ページ： 56,57

		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
拠点数	目標（見込値）			82か所	86か所	90か所	94か所
	実績	68か所	76か所	76か所	78か所	84か所	
登録人数	目標（見込値）			1,306人	1,406人	1,446人	1,486人
	実績	1,243人	1,306人	1,355人	1,376人	1,421人	
サポーター研修	目標（見込値）			2回	2回	2回	2回
	実績	2回	2回	2回	1回	1回	
サポーターステップアップ研修	目標（見込値）			1回	1回	1回	1回
	実績	2回	1回	2回	1回	0回	
お世話役懇談会	目標（見込値）			1回	1回	1回	1回
	実績	1回	1回	1回	1回	1回	

・推進の方向性

いきいき百歳体操の地域展開を継続するためのサポーター育成及び活動の充実、交流の場づくり、新たな地域展開の推進の取組みへの検討を行う。

・第7期計画の中間評価と課題点

登録人数は増加傾向にあるが、拠点数、登録人数、サポーター研修の実施回数について平成30年度（2018年度）では目標値を達成できなかった。

今後の課題点としては、より身近な事業として受け入れられるよう、周知を行う必要がある。例えば、ニーズ調査で把握した地域づくり活動に対するお世話役としての参加意向の高い住民に向けた情報提供などが考えられる。

また、市ホームページ掲載のいきいき百歳体操実施場所について平成28年7月以降の更新が滞っているため、情報を更新し、市民への周知を行う必要がある。

・参考資料

第8期　介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

地域づくり活動に対する参加者としての参加意向

単位：%

		母数(n)	地域づくり活動に対する参加者としての参加意向				
			ぜひ参加したい	参加してもよい	参加したくない	既にている参加し	無回答
全体		1,617	5.9	44.0	38.0	5.5	6.6
性・年齢	男性　前期高齢者	405	2.7	48.6	42.5	3.2	3.0
	男性　後期高齢者	308	6.5	38.6	39.3	6.8	8.8
	女性　前期高齢者	446	5.8	52.0	31.8	5.8	4.5
	女性　後期高齢者	458	8.3	35.6	39.3	6.3	10.5
圏域	緑	429	6.3	41.5	38.5	8.6	5.1
	西淡	381	5.8	49.9	33.1	3.4	7.9
	三原	386	6.2	39.6	41.5	4.9	7.8
	南淡	386	5.2	46.1	37.3	5.2	6.2
	沼島	35	5.7	34.3	57.1	－	2.9
認定該当状況	一般高齢者	1,518	5.9	45.6	36.8	5.7	5.9
	要支援１・２	99	5.1	19.2	56.6	2.0	17.2

地域づくり活動に対するお世話役としての参加意向

単位：%

		母数(n)	地域づくり活動に対するお世話役としての参加意向				
			ぜひ参加したい	参加してもよい	参加したくない	既にている参加し	無回答
全体		1,617	1.7	26.7	61.0	4.2	6.4
性・年齢	男性　前期高齢者	405	1.2	29.6	63.5	3.0	2.7
	男性　後期高齢者	308	1.9	27.3	58.1	4.5	8.1
	女性　前期高齢者	446	2.7	26.9	59.9	5.2	5.4
	女性　後期高齢者	458	0.9	23.6	62.0	4.1	9.4
圏域	緑	429	2.3	23.8	62.5	5.8	5.6
	西淡	381	1.0	31.5	55.9	3.9	7.6
	三原	386	1.3	28.0	61.9	3.4	5.4
	南淡	386	1.8	24.6	62.7	3.9	7.0
	沼島	35	2.9	20.0	71.4	－	5.7
認定該当状況	一般高齢者	1,518	1.7	27.6	60.4	4.3	5.9
	要支援１・２	99	1.0	13.1	70.7	2.0	13.1

③-2　かみかみ百歳体操　　計画書掲載ページ： 57,58

		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
拠点数	目標（見込値）			35か所	38か所	41か所	44か所
	実績	23か所	31か所	37か所	37か所	40か所	
登録人数	目標（見込値）			694人	724人	754人	784人
	実績	552人	654人	753人	793人	796人	

・推進の方向性

今後も口腔機能を維持・改善の重要性や効果について普及啓発していく。

・第7期計画の中間評価と課題点

登録人数は増加傾向にあり、目標値を達成できている。
ニーズ調査結果から、地域の活動に参加する際に最も気になることとして前期高齢者の３割～５割程度が「実施内容」を重視する傾向があることが把握できたことから、いきいき百歳体操を継続して実施しているグループに対して、今後も導入に関してPRを行うことで、事業効果を上げることが期待できる。

・参考資料

地域の活動に参加する際に最も気になること

単位：%

		母数(n)	地域の活動に参加する際に最も気になること				
			実施場所への行きやすさ	実施内容	一緒に参加できる人の有無	その他	無回答
全体		1,617	14.1	34.3	25.4	12.7	13.5
性・年齢	男性　前期高齢者	405	7.7	51.4	20.0	12.3	8.6
	後期高齢者	308	13.0	34.1	21.4	13.6	17.9
	女性　前期高齢者	446	15.0	36.3	28.7	10.5	9.4
	後期高齢者	458	19.7	17.2	29.7	14.6	18.8
圏域	緑	429	14.5	36.4	23.3	11.7	14.2
	西淡	381	16.3	33.9	22.0	12.1	15.7
	三原	386	14.0	33.9	28.0	14.0	10.1
	南淡	386	12.2	33.2	28.8	13.0	13.0
	沼島	35	8.6	28.6	22.9	17.1	22.9
認定該当状況	一般高齢者	1,518	13.6	36.2	25.9	11.9	12.4
	要支援１・２	99	21.2	5.1	18.2	25.3	30.3

口腔機能の低下リスク該当状況

単位：%

		母数(n)	口腔機能の低下リスク	
			該当	非該当
全体		1,617	25.7	74.3
性・年齢	男性　前期高齢者	405	19.8	80.2
	後期高齢者	308	31.2	68.8
	女性　前期高齢者	446	21.5	78.5
	後期高齢者	458	31.4	68.6
圏域	緑	429	24.0	76.0
	西淡	381	26.0	74.0
	三原	386	25.6	74.4
	南淡	386	26.4	73.6
	沼島	35	37.1	62.9
認定該当状況	一般高齢者	1,518	24.0	76.0
	要支援１・２	99	51.5	48.5

③-3　しゃきしゃき百歳体操

計画書掲載ページ： 58

		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
拠点数	目標（見込値）			20か所	20か所	23か所	26か所
	実績	0か所	0か所	9か所	37か所	37か所	
登録人数	目標（見込値）			200人	200人	230人	260人
	実績	0人	0人	107人	322人	321人	

・推進の方向性

認知症予防に効果のある動作を取り入れた体操であり、認知機能の維持・向上の重要性や効果について普及啓発していく。

・第7期計画の中間評価と課題点

拠点数、登録人数ともに目標値を達成できている。一方で、ニーズ調査結果からいきいき百歳体操、かみかみ百歳体操と比べると認知度が低い傾向が見られた。

在宅介護実態調査の結果をみると、多くの介護者が認知症に対して不安を抱えていることから、認知症に対する正しい知識の普及・啓発を行うとともに、予防事業であるしゃきしゃき百歳体操についても周知を行う必要があると考えられる。

・参考資料

第8期　介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

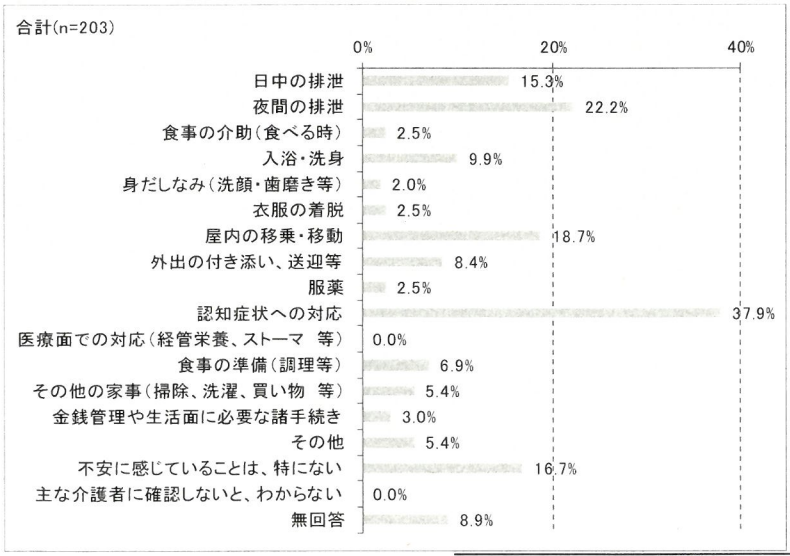
南あわじ市の取組みで知っていること（再掲）

単位：%

		母数(n)	南あわじ市の取組みで知っていること(MA)										
			いきいき百歳体操	かみかみ百歳体操	しゃきしゃき百歳体操	高齢者日常生活用具給付等事業	配食サービス	緊急通報システムの設置	高齢者等元気活躍推進事業	その他	知らない	無回答
全体		1,617	70.3	10.6	6.5	10.3	28.9	14.5	4.9	0.7	16.2	9.1
性・年齢	男性　前期高齢者	405	57.3	5.4	3.5	8.4	21.7	20.7	6.9	0.5	27.4	8.6
	後期高齢者	308	63.6	8.4	4.5	7.5	17.9	12.0	5.5	1.3	19.8	12.0
	女性　前期高齢者	446	81.6	10.8	6.7	10.1	42.4	16.1	5.8	0.2	9.6	6.3
	後期高齢者	458	75.3	16.6	10.3	14.0	29.5	9.0	2.0	1.1	10.3	10.3
圏域	緑	429	72.7	14.2	8.2	7.9	29.1	14.9	3.7	0.9	13.5	10.0
	西淡	381	70.9	12.1	7.3	14.7	38.8	15.2	6.3	0.3	13.9	10.2
	三原	386	70.5	9.8	4.9	9.8	24.6	13.0	6.0	1.0	17.6	8.0
	南淡	386	66.6	7.0	5.4	9.1	23.8	15.5	4.1	0.8	19.4	8.5
	沼島	35	74.3	－	5.7	8.6	20.0	5.7	2.9	－	22.9	2.9
認定該当状況	一般高齢者	1,518	70.7	10.6	6.3	10.1	29.7	15.3	5.1	0.7	16.7	8.3
	要支援１・２	99	64.6	11.1	10.1	12.1	16.2	2.0	2.0	2.0	9.1	21.2

第8期　在宅介護実態調査

現在の生活を継続していくにあたって不安に感じる介護



○今後の取り組み

いきいき百歳体操などを含む集いの場については、市でも地域で閉じこもり予防や生きがいを感じることのできる場として必要性を認識しており、集いの場の箇所数を増やしていけるよう平成３０年度より集いの場の運営費に対して補助を実施している。
市民の地域活動への参加意識は高い傾向にあるため、今後は集いの場づくりへの住民への普及・啓発を行うほか、集いの場運営補助金についても、申請方法や条件を案内するなど、開催箇所数の増加に向けた取り組みについて検討する必要がある。

・参考資料

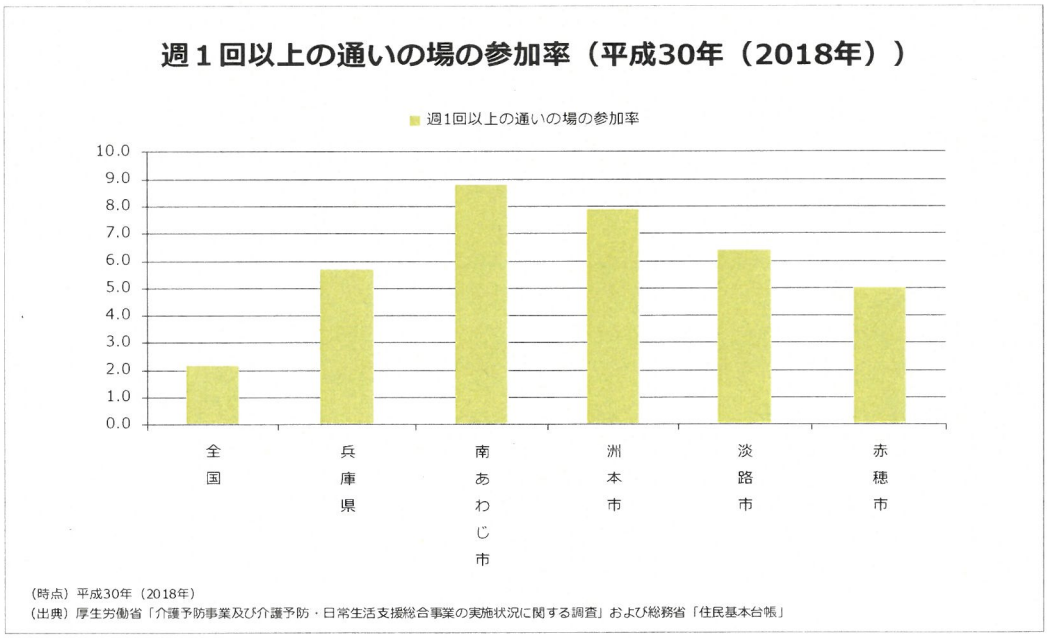
第8期　介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

いきいき百歳体操、ふれあいいきいきサロンなど介護予防のための通いの場への参加頻度（再掲）

単位：%

		母数(n)	⑤いきいき百歳体操、ふれあいいきいきサロンなど介護予防のための通いの場への参加頻度							(再掲)
			週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答	年1回以上参加している
全体		1,617	1.0	1.7	6.2	2.6	3.5	62.0	23.1	15.0
性・年齢	男性　前期高齢者	405	0.2	0.2	1.0	0.2	2.5	80.2	15.6	4.0
	後期高齢者	308	0.6	1.3	2.9	0.6	2.6	58.8	33.1	8.0
	女性　前期高齢者	446	0.7	0.7	6.3	2.0	5.8	68.6	15.9	15.5
	後期高齢者	458	2.2	4.1	12.9	6.6	2.6	41.5	30.1	28.4
圏域	緑	429	1.2	3.5	8.4	2.6	3.5	59.4	21.4	19.2
	西淡	381	1.0	1.3	6.3	4.5	2.9	59.3	24.7	16.0
	三原	386	0.8	0.8	3.6	2.3	3.1	67.9	21.5	10.6
	南淡	386	0.8	1.0	6.5	1.3	2.6	63.0	24.9	12.2
	沼島	35	2.9	-	2.9	-	22.9	45.7	25.7	28.7
認定該当状況	一般高齢者	1,518	0.9	1.1	6.0	2.6	3.6	63.5	22.5	14.2
	要支援１・２	99	3.0	11.1	9.1	3.0	2.0	38.4	33.3	28.2

見える化システム



2．包括的支援事業

（3）認知症施策の推進

①-2　普及啓発事業

計画書掲載ページ： 69,70

		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
認知症サポーター数	目標（見込値）			4,900人	5,200人	5,500人	5,800人
	実績	3,811人	4,600人	4,928人	5,276人	5,544人	

・推進の方向性

認知症に対する正しい知識の普及は重要であり、引き続き認知症サポーターの養成に努めていく。

・第7期計画の中間評価と課題点

認知症サポーター数は順調に増加しており、市民全員が認知症に対する正しい知識を持てるよう引き続き取り組みを推進していきます。

・参考資料

第8期　介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

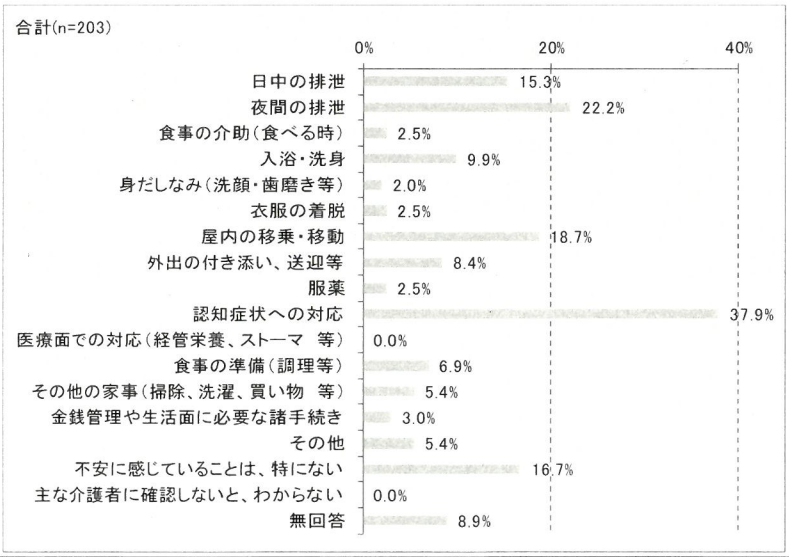
認知症に関する取組みで知っていること

単位：%

		母数(n)	認知症に関する取組みで知っていること(MA) 認知症サポーター養成事業	認知症を支える家族の会「スマイル」	高齢者等の見守り・SOSネットワーク事業	認知症初期集中支援チーム事業	その他	無回答
全体		1,617	10.0	10.4	8.8	1.7	22.3	54.5
性・年齢	男性　前期高齢者	405	7.7	7.4	10.4	1.5	29.4	48.6
	後期高齢者	308	12.0	7.8	6.2	2.9	22.4	55.8
	女性　前期高齢者	446	11.0	14.8	10.8	1.3	20.0	51.8
	後期高齢者	458	9.6	10.5	7.4	1.3	18.3	61.6
圏域	緑	429	8.9	10.7	9.1	2.3	21.0	55.2
	西淡	381	12.1	12.3	9.2	2.1	22.6	52.8
	三原	386	8.0	10.6	8.3	1.6	23.3	54.9
	南淡	386	11.1	8.3	8.5	0.5	23.1	54.4
	沼島	35	8.6	5.7	11.4	2.9	17.1	62.9
認定該当状況	一般高齢者	1,518	10.2	10.9	9.2	1.7	22.1	54.0
	要支援１・２	99	6.1	3.0	3.0	1.0	25.3	63.6

第8期　在宅介護実態調査

現在の生活を継続していくにあたって不安に感じる介護（再掲）



②-3　高齢者等見守りSOSネットワーク事業

計画書掲載ページ： 71,72

		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
協力機関数	目標（見込値）			3件			
	実績		1件	4件	4件	4件	
事前登録者数	目標（見込値）			5人			
	実績		5人	10人	15人	15人	

・推進の方向性

登録者を増やすこととともに、地域での見守り体制を構築するための訓練や認知症の正しい知識の普及啓発に努めていく。

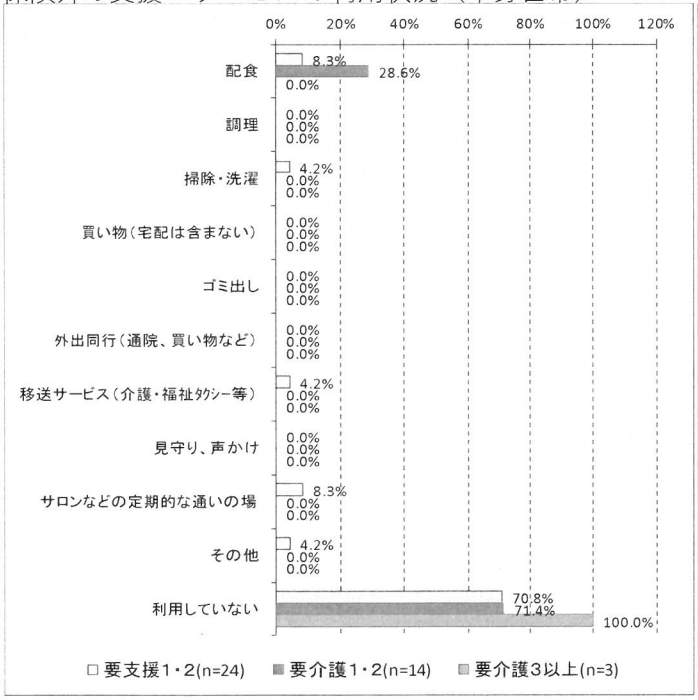
・第7期計画の中間評価と課題点

協力機関、事前登録人数ともに大きな変化は見られない。
見守り・声かけについては在宅介護実態調査の結果では一定のニーズが確認できたが、利用者の割合が少ないことが把握できたため、より利用しやすい体制を整えていく必要がある。

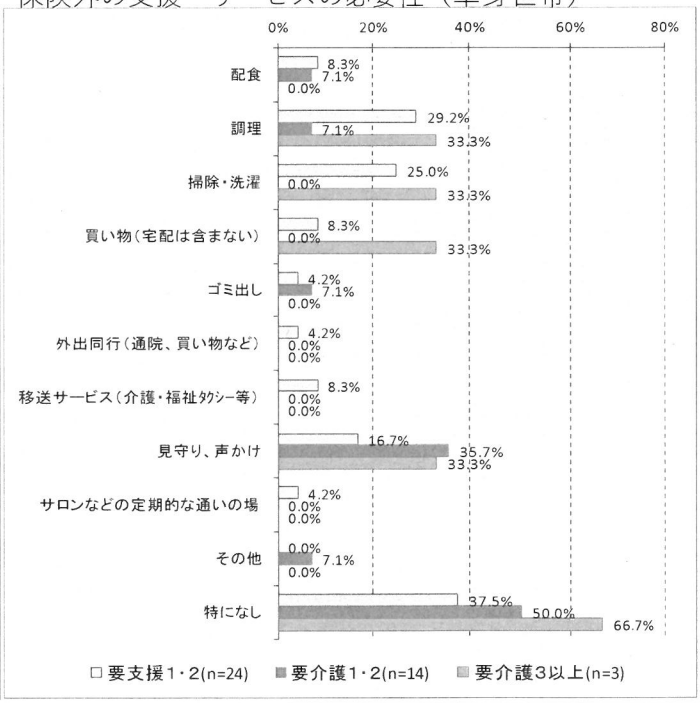
・参考資料

第8期　在宅介護実態調査

保険外の支援・サービスの利用状況（単身世帯）



保険外の支援・サービスの必要性（単身世帯）



2　高齢者福祉の推進

1．在宅生活支援事業

（3）福祉いきいき住宅改修助成事業

計画書掲載ページ： 79

		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
利用人数	目標（見込値）			2人	3人	3人	3人
	実績	3人	2人	1人	1人	1人	

・推進の方向性

県の補助制度の動向を踏まえながら、より利用しやすい制度を目指す。

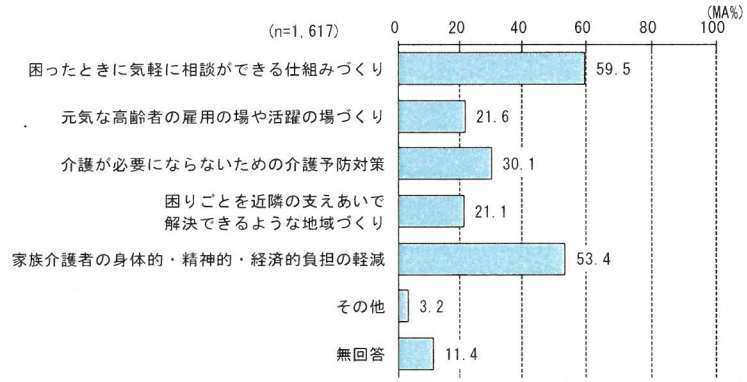
・第7期計画の中間評価と課題点

利用人数は横ばいとなっている。
在宅での生活継続を望んでいるが、住宅の構造が障壁となっている世帯、住宅の改造が経済的に難しい世帯がないか、ケアマネジャーを中心に把握を進める必要がある。

・参考資料

第8期　介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

今後南あわじ市が特に力を入れて取り組むべきこと



（5）「食」の自立生活支援事業

計画書掲載ページ： 80

		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
利用延べ人数	目標（見込値）			960人	1,060人	1,120人	1,180人
	実績	1,143人	1,133人	953人	1,006人	987人	
配食延べ人数	目標（見込値）			9,500食	10,030食	10,600食	11,100食
	実績	10,429食	10,610食	9,406食	9,552食	9,662食	

・推進の方向性

引き続き栄養バランスの取れた食事を提供するとともに、安否確認の機能を発揮できるよう委託先と連携を密に図っていく。

・第7期計画の中間評価と課題点

市内の民間配食業者とも情報交換するなど、市内全域の配食や安否確認のニーズについて関係者間で情報共有できる体制を築く。

3　高齢者の生きがいづくりと活躍推進

1．生涯学習活動の充実

計画書掲載ページ： 84

		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
高齢者大学生徒数	目標（見込値）			205人	200人	200人	200人
	実績	195人	199人	205人	193人	180人	

・推進の方向性

生涯学習のより一層の充実を目指し、新たな創造を実践する高齢者大学として、講座生のニーズに応える学びを進めていく。

・第7期計画の中間評価と課題点

生徒数は減少傾向にある。ニーズ調査結果から、生きがいの有無が主観的幸福感に影響を与えると考えられるため高齢者の生きがいを発見できる場としての機能を強化していくほか、今後も講座の充実に努めていく必要があると考えられる。

・参考資料

第8期　介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

生きがいの有無と主観的幸福感の関係

単位：%

		母数(n)	生きがいの有無		
			生きがいあり	思いつかない	無回答
全体		1,617	58.4	34.9	6.7
性・年齢	男性　前期高齢者	405	56.3	39.3	4.4
	後期高齢者	308	58.4	34.4	7.1
	女性　前期高齢者	446	62.8	32.7	4.5
	後期高齢者	458	56.1	33.4	10.5
圏域	緑	429	62.7	32.4	4.9
	西淡	381	57.2	34.9	7.9
	三原	386	57.5	35.5	7.0
	南淡	386	57.3	36.0	6.7
	沼島	35	42.9	45.7	11.4
認定該当状況	一般高齢者	1,518	59.9	34.0	6.1
	要支援１・２	99	36.4	48.5	15.2
主観的健康感	とてもよい	128	76.6	18.0	5.5
	まあよい	1,077	63.9	30.3	5.8
	あまりよくない	313	39.0	53.7	7.3
	よくない	61	32.8	59.0	8.2

2．仲間づくり・社会参加活動の促進

（1）老人クラブ活動の支援

計画書掲載ページ： 84,85

		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
老人クラブ数	目標（見込値）			198クラブ	198クラブ	194クラブ	
	実績	200クラブ	199クラブ	198クラブ	194クラブ	190クラブ	
会員数	目標（見込値）			11,776人	11,776人	11,432人	
	実績	12,146人	11,971人	11,776人	11,432人	11,041人	

・推進の方向性

会員以外の方への参加の勧奨を行い、会員の増加を図る。

・第7期計画の中間評価と課題点

ニーズ調査結果から把握できる老人クラブには参加していないが、地域住民の有志による、健康づくり活動や趣味等のグループ活動への参加意向のある層に対して重点的に案内を行うことで、会員の増加を見込むことが出来る。

・参考資料

第8期　介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

地域づくり活動に対する参加者としての参加意向

単位：%

		母数(n)	地域づくり活動に対する参加者としての参加意向				
			いぜひ参加した	い参加してもよ	い参加したくな	いる既に参加して	無回答
全体		1,617	5.9	44.0	38.0	5.5	6.6
性・年齢	男性　前期高齢者	405	2.7	48.6	42.5	3.2	3.0
	後期高齢者	308	6.5	38.6	39.3	6.8	8.8
	女性　前期高齢者	446	5.8	52.0	31.8	5.8	4.5
	後期高齢者	458	8.3	35.6	39.3	6.3	10.5
圏域	緑	429	6.3	41.5	38.5	8.6	5.1
	西淡	381	5.8	49.9	33.1	3.4	7.9
	三原	386	6.2	39.6	41.5	4.9	7.8
	南淡	386	5.2	46.1	37.3	5.2	6.2
	沼島	35	5.7	34.3	57.1	-	2.9
認定該当状況	一般高齢者	1,518	5.9	45.6	36.8	5.7	5.9
	要支援１・２	99	5.1	19.2	56.6	2.0	17.2

老人クラブへの参加頻度

単位：%

		母数(n)	⑥老人クラブへの参加頻度							（再掲）
			週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	い参加していな	無回答	年1回以上参加している
全体		1,617	0.6	1.1	0.8	3.3	27.3	46.4	20.5	33.1
性・年齢	男性　前期高齢者	405	0.5	0.2	-	4.4	25.7	57.3	11.9	30.8
	後期高齢者	308	1.6	2.6	1.3	2.3	26.3	40.3	25.6	34.1
	女性　前期高齢者	446	0.2	0.4	0.7	2.5	29.4	53.4	13.5	33.2
	後期高齢者	458	0.4	1.3	1.3	3.7	27.5	34.3	31.4	34.2
圏域	緑	429	0.5	0.9	0.9	3.0	25.9	50.1	18.6	31.2
	西淡	381	1.3	1.6	0.3	3.4	28.6	42.5	22.3	35.2
	三原	386	0.8	0.5	1.6	3.4	26.2	48.7	18.9	32.5
	南淡	386	-	1.0	0.5	3.1	29.5	44.3	21.5	34.1
	沼島	35	-	2.9	-	5.7	20.0	42.9	28.6	28.6
認定該当状況	一般高齢者	1,518	0.7	1.0	0.8	3.3	28.5	46.7	19.1	34.3
	要支援１・２	99	-	2.0	1.0	3.0	10.1	42.4	41.4	16.1